

温度感知付オートウインドウキット(Ver2.0)

120524

この度は、温度感知付スーパーオートウインドウキットをご購入いただき、有難うございました。取付前に本説明書を熟読いただき、正しく取り付けして下さい。

取り付けはすべて自己責任でお願いします。当方はいかなる場合も一切責を負いません。
 プラスコントロール車とマイナスコントロール車で配線が違いますので、確認してから配線してください。
 車両に接続する前に必ずそれぞれの検査方法の検査を行って、配線が正しいか確かめてください。

！危険 以下の注意事項を無視し取扱いを誤った場合、使用者が重傷を負ったり死に至る危険性があります。

このキットは、パワーウインドウスイッチをダブルクリックすることでウインドウを全開閉させ、利便性をよくすることを目的としています。挟み込み防止機能はありませんので、窓から顔を出していないか安全を十分確認して使用してください。

基本キット製品構成

・コントローラー(青4) 1個 ・ヒューズ付き専用ハーネス 1セット ・温度センサー 1個

商品説明

- ・本キットを接続したドアのパワーウインドウの開閉スイッチをダブルクリックすることで全開閉できるキットです。
- ・ドアの開閉スイッチ線を接続すると、ドアを開けた時にウインドウを少し下げ、ドアを閉め易くします。
- ・温度センサーを接続すると、駐車中、車内が設定温度になると自動的にウインドウを少し下げ、温度が約35℃に下がると自動的にウインドウを閉めます。(後付スイッチで一時的に機能オフにすることも可能。)

基板内ジャンパー設定について。(ジャンパー設定をするときは、基板の回路をショートしないようにしてください。)

JP1:ジャンパーターミナル(黒い樹脂、以下JPT)を付けて(プラスコントロール)使用します。(出荷時の設定)

JP2:JPTを付けると動作時間計算モード、外すと固定時間モードになります。

JP3:JPTを付けるとドアを開けたり室内が高温になったときのウインドウ下降時間を 0.25秒に設定、外すと0.5秒に設定します。

JP4、JP5:ウインドウ開温度を設定します。

ジャンパー設定	JP4:0	JP5:0	JP4:1	JP5:0	JP4:0	JP5:1	JP4:1	JP5:1
ウインドウ開温度	約40		約45		約50		約55	

設定0:ジャンパーターミナル(黒い樹脂)を付ける 設定1:ジャンパーターミナルを外す

動作時間設定方法(共通) (バッテリー交換やコントローラーのコネクターを抜いた場合、再学習が必要です。)

本商品は、電源 ON 時にウインドウの動作時間を学習します。

1. ウインドウが全開の状態のコネクタを挿す。
2. 2秒後にウインドウが少し上がるのを確認後、純正スイッチでウインドウを全閉状態にする。
3. 本体からカチッとリレーの音がすれば学習終了です。

学習操作を行わなかった場合は、5秒に設定されます。

温度センサーの配線方法(プラスコントロール車、マイナスコントロール車共通)

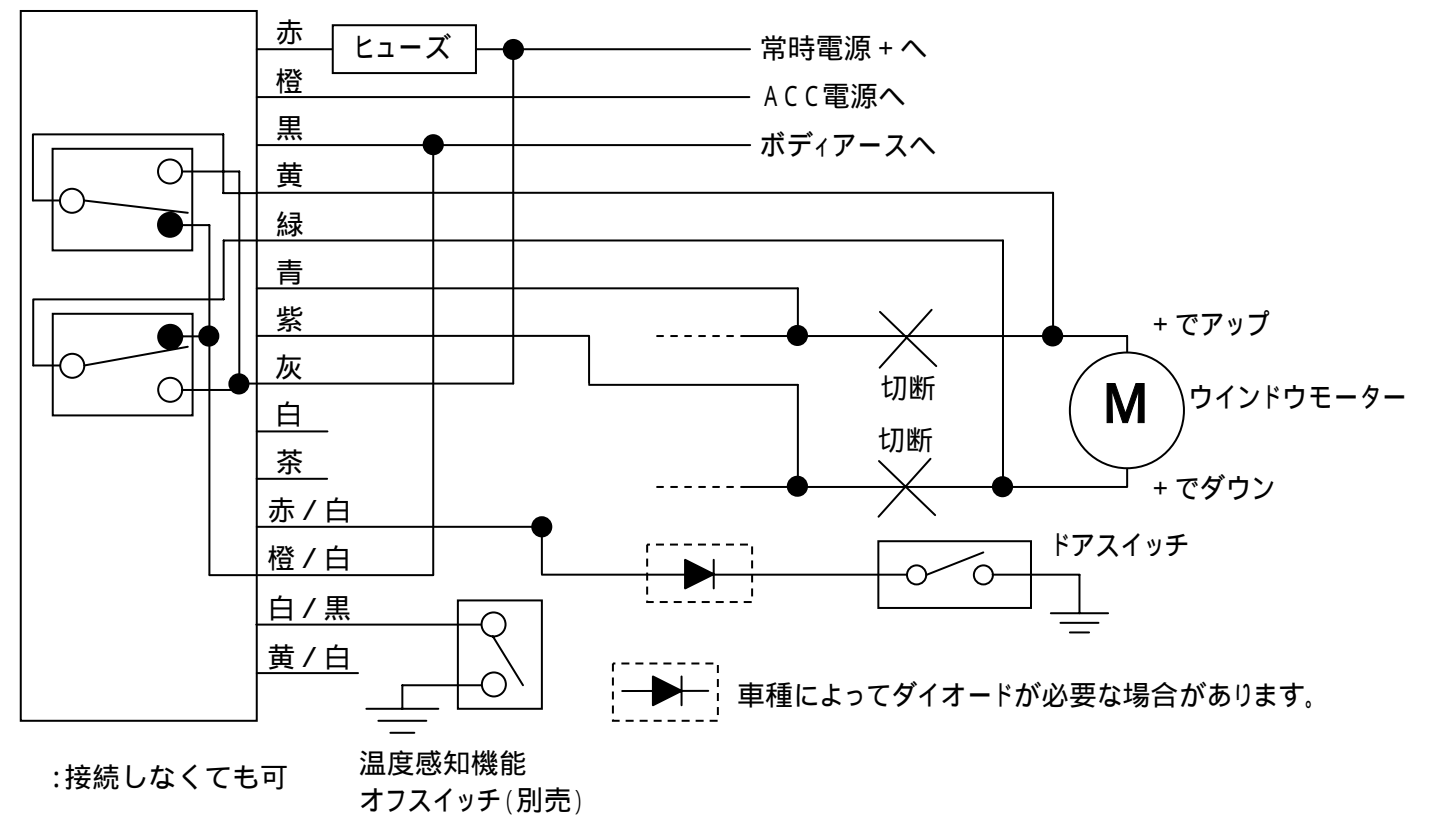
CN2 4ピンセンサーカプラー線色	説明と主な接続先
赤	温度センサーの赤線に接続。
黒	温度センサーの黒線に接続。
青	温度センサーの青線に接続。

配線方法1(プラスコントロール車 ウインドウモーターを+12Vで動作させる車)

コントローラーケーブル線色	説明と主な接続先
赤	電流が20A以上可能な常時電源の+へ接続。
橙	ACC電源に接続。
黒	ボディアースへ接続。
黄	ウインドウモーターのアップ線をカットしたうち、モーター側へ接続。
緑	ウインドウモーターのダウン線をカットしたうち、モーター側へ接続。
青	ウインドウモーターのアップ線をカットしたうち、スイッチ側へ接続。
紫	ウインドウモーターのダウン線をカットしたうち、スイッチ側へ接続。
灰	本キットの 赤線のヒューズの前へ接続。
白、茶	接続不要。
赤/白	ドア開閉スイッチ(ドア開でアース)へ接続。 ドアを開けたときに少し下がり、ドアを閉めたときに元に戻ります。
橙/白	黒線に接続。
白/黒	温度感知自動開閉機能オフスイッチの片方へ接続。(雨が降りそうな日に使用します。)
黄/白	接続不要。
注意事項	印の線は接続しなくてもかまいません。 接続しないコードは、必ずテープ等で絶縁してください。

基本結線図1(プラスコントロール車 ウインドウモーターを+12Vで動作させる車)

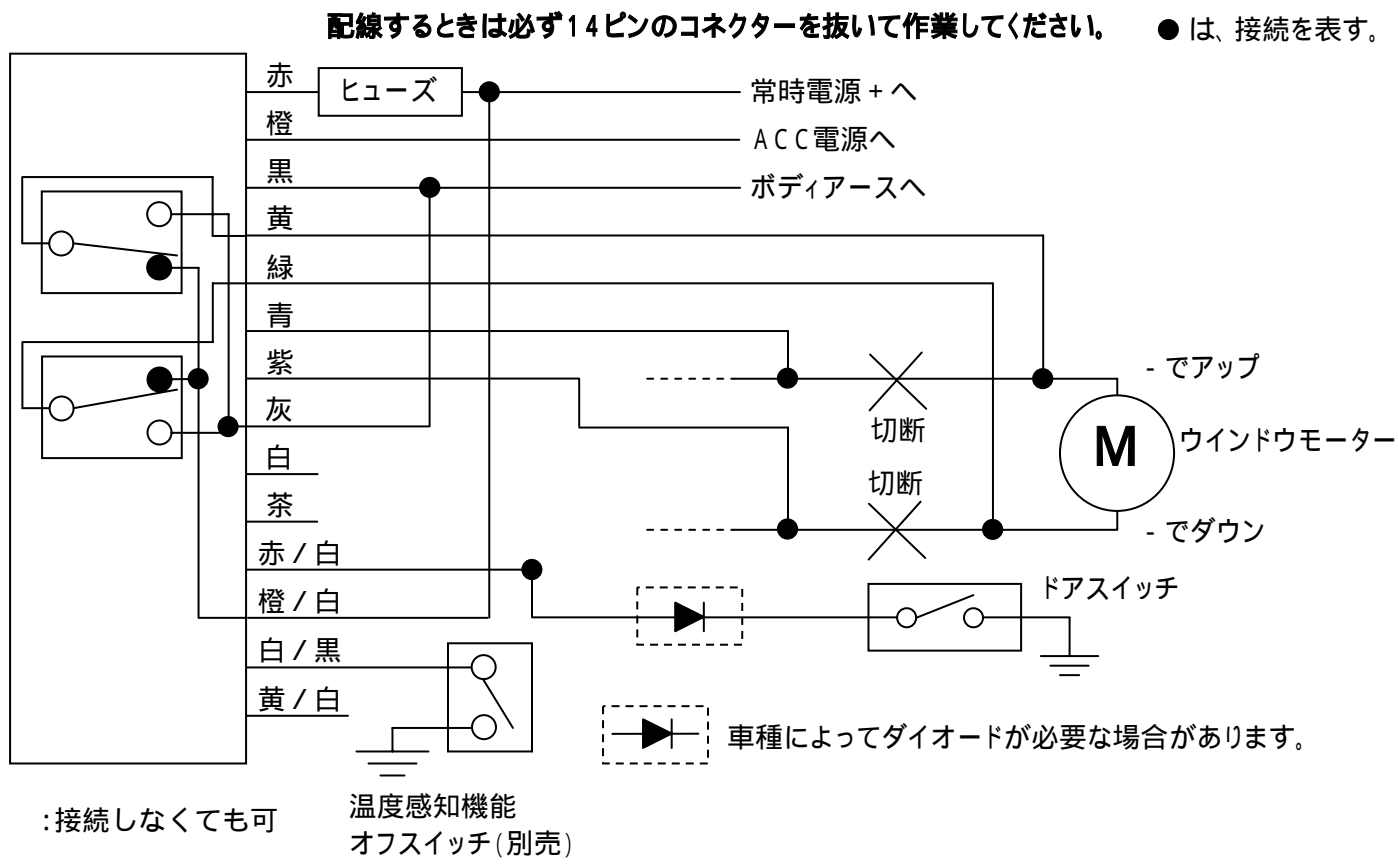
配線するときは必ず14ピンのコネクターを抜いて作業してください。 ● は、接続を表す。



配線方法2 (マイナスコントロール車 ウィンドウモーターを - (0V) で動作させる車、例 1990 年代のベンツ等)

コントローラー ケーブル線色	説明と主な接続先
赤	電流が20A以上可能な常時電源の+へ接続。
橙	ACC電源に接続。
黒	ボディアースへ接続。
黄	ウィンドウモーターのアップ線をカットしたうち、モーター側へ接続。
緑	ウィンドウモーターのダウン線をカットしたうち、モーター側へ接続。
青	ウィンドウモーターのアップ線をカットしたうち、スイッチ側へ接続。
紫	ウィンドウモーターのダウン線をカットしたうち、スイッチ側へ接続。
灰	本キットの 黒線へ接続。
白、茶	接続不要。
赤/白	ドア開閉スイッチ(ドア開でアース)へ接続。 ドアを開けたときに少し下がり、ドアを閉めたときに元に戻ります。
橙/白	本キットの 赤線のヒューズの前へ接続。
白/黒	温度感知自動開閉機能オフスイッチの片方へ接続。(雨が降りそうな日に使用します。)
黄/白	接続不要。
注意事項	印の線は接続しなくてもかまいません。 接続しないコードは、必ずテープ等で絶縁してください。

基本結線図2 (マイナスコントロール車 ウィンドウモーターを - (0V) で動作させる車)



オートウインドウキット検査方法1 (プラスコントロール車 ウィンドウモーターを + 12V で動作させる車)

車両に接続する前に必ず以下の検査を行って、配線が正しいか確かめてください。
配線完了後、コントローラーを接続する前に必ず以下の手順で配線を確認してください。
この配線検査を行わずにコネクターを挿すと、コントローラーが破損したり車両が壊れます。

必ず1番から4番まで、順番に飛ばさずに確認してください。途中、正常でない場合は、次に進まずに配線を直してから次に進んでください。(検査を始めるときは、窓は全閉状態にして下さい。)
手順以外の差込は破損の元になりますので、絶対にしないように注意してください。
2本の検査ピンは絶対にショートさせないで下さい。
検査ピンが熱くなる場合がありますので、軍手などで保護してください。

順序	検査方法	車両の動作	異常の場合の不良原因
1	黄と青に1本の検査ピンを差し込み、緑と紫に別の検査ピンを差し込み、純正のスイッチを操作。	通常のウィンドウ動作	黄、青、緑、紫線の結線不良
2	黄と橙/白に検査ピンを差し込んだまま、赤と緑に別の検査ピンを差し込む。	差し込んでいる間、ウィンドウが下がる	赤線、橙/白の結線不良
3	緑と橙/白に検査ピンを差し込んだまま、黄と灰に別の検査ピンを差し込む。	差し込んでいる間、ウィンドウが上がる	灰線の結線不良
4	コントローラーを接続し、動作させる。	オートウインドウ動作	黒線の結線不良 またはコントローラーの初期不良

オートウインドウキット検査方法2 (マイナスコントロール車 ウィンドウモーターを - (0V) で動作させる車)

車両に接続する前に必ず以下の検査を行って、配線が正しいか確かめてください。
配線完了後、コントローラーを接続する前に必ず以下の手順で配線を確認してください。
この配線検査を行わずにコネクターを挿すと、コントローラーが破損したり車両が壊れます。

必ず1番から4番まで、順番に飛ばさずに確認してください。途中、正常でない場合は、次に進まずに配線を直してから次に進んでください。(検査を始めるときは、窓は全閉状態にして下さい。)
手順以外の差込は破損の元になりますので、絶対にしないように注意してください。
2本の検査ピンは絶対にショートさせないで下さい。
検査ピンが熱くなる場合がありますので、軍手などで保護してください。

順序	検査方法	車両の動作	異常の場合の不良原因
1	黄と青に1本の検査ピンを差し込み、緑と紫に別の検査ピンを差し込み、純正のスイッチを操作。	通常のウィンドウ動作	黄、青、緑、紫線の結線不良
2	黄と橙/白に検査ピンを差し込んだまま、黒と緑に別の検査ピンを差し込む。	差し込んでいる間、ウィンドウが下がる	黒線、橙/白の結線不良
3	緑と橙/色に検査ピンを差し込んだまま、黄と灰に別の検査ピンを差し込む。	差し込んでいる間、ウィンドウが上がる	灰線の結線不良
4	コントローラーを接続し、動作させる。	オートウインドウ動作	赤線の結線不良 またはコントローラーの初期不良

検査ピン

検査ピンは、書類を留める金属のクリップを2本御用意いただき、伸ばしてV字に曲げて製作してください。

